

【ESD 演習】

春日山フィールドワーク 活動報告書

英語教育専修 学部 4 回生 口脇和

1. 日時 平成 29 年 5 月 28 日(日) 10:00~16:30
2. 場所 春日山原始林、若草山
3. 参加者 教職大学院 谷内
修士 春日、栗谷、木村、糸、佐野
学部 口脇、杉田、田中、谷垣、森本、板口、八木、宇都宮、守部
次世代教員養成センター 中澤静男
4. 講師 春日山原始林を未来へつなぐ会事務局長 杉山拓次氏
5. 内容

- ・春日山原始林北遊歩道から若草山山頂を経て、鶯の滝までを散策
- ・アクティビティ（フィールドビンゴ、感性の体操、葉っぱじゃんけん、ループで観察、スキヤキハイク、森の万華鏡）

6. 活動報告

春日山原始林にて講師の方をお招きしてフィールドワークを行った。春日山原始林の北遊歩道から、途中にフィールドビンゴ等のアクティビティをしながら、若草山山頂を経て散策をした。

今回の活動を以下の二点でまとめる。一つ目は体を動かすことの大切さ、そして二つ目は視点を変えて自然を見ることである。

一つ目は体を動かすことの大切さである。普段あまり体を動かすことが無いので、今回の春日山原始林でのフィールドワークを終えてかなりリフレッシュができたと感じている。他の学生も散策を終えてリフレッシュできたようだった。たまに体を動かすことの大切さを体感した。また、外に出て動くことで、子どもたちにも体を動かすことを楽しみ大切さを知ってほしいと感じた。

二つ目は視点を変えて自然を見ることである。普段木々を見ても特に何も思わないが、今回のフィールドワークではあらゆる視点から木々を観察することができた。例えば、たくさんある木々の中でもナラ枯れで枯れてしまった木や、ナラ枯れを防ぐために包帯を巻かれている木、均等に日光が当たるよう葉っぱが重ならないようになっている木など様々あり、ただ見るだけでは気づかないようなことを講師の方から教えていただいた。また落ちていた葉っぱを拾ってきて、「大きい葉っぱじゃんけん」や「かっこいい葉っぱじゃんけん」などお題に合った葉っぱを出し合って遊ぶ葉っぱじゃんけんも教えていただいた。ただ落ちていただけの葉っぱを使って楽しい遊びができることにとても驚いた。また、ループや折りたたみ鏡などのちょっとしたアイテムを用いることで、自然の見え方、感じ方が大きく変化することに気がついた。岩についたコケをループで見ると、ジャングルのように見える。折りたたみ鏡を合わせて使うと、おしゃれな森の万華鏡のできあがり。そして、鏡を目の下に持って行くと、空中散歩も楽しめた。

今回のフィールドワークで得たこの学びを、今度は自分たちが伝える立場になりたいと感じた。ESD 子どもキャンプ等で子どもたちに積極的に伝えていきたい。



ナラ枯れの原因となる虫を観察